

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月8日

【評価実施概要】

事業所番号	4271402200
法人名	有限会社 春陽会
事業所名	グループホーム うららの里
所在地	〒859-2204 長崎県南島原市有家町蒲河415番地 (電話) 0957-82-6363

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年9月25日	評価確定日	平成20年11月27日

【情報提供票より】(平成20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 3月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18人
職員数	16人 常勤 16人, 非常勤 0人, 常勤換算 5.4人・5.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費	水道光熱費等100円/日・その他実費	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		960 円	

(4) 利用者の概要(平成20年9月1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	6名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.3歳	最低	71歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田医院・しろの医院・よしだ歯科クリニック
---------	-----------------------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成新山や有明海が望める自然豊かな所にある当ホームは、付近に大型ショッピングセンター等があり、入居者との買い物へ出かけるのも楽しめる。またホームの広い中庭は緑が美しい芝生があり、日向ぼっこから行事まで幅広く利用出来る。ホーム内は明るく、綺麗に保たれている。当ホームは手作りの食事にも力を注がれており、彩りも綺麗で味もおいしい食事が提供されており、入居者のみならず、ご家族にも喜ばれている。また、管理者をはじめ職員全員が笑顔で対応されているのが特に印象的である。まさに当ホームが掲げる理念の中心である、「陽気に 楽しくいきいきと！」が浸透されていることが伺える、笑顔あふれるグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価を受けられて改善計画シートを作成されている。その中で「職員を育てる取り組み」では外部研修会に参加するだけに留まらず、出席者に研修会での内容を発表してもらい、職員全員で共有出来るように取り組まれている。また災害対策でも火災のみでなく、地震や水害についても消防署の職員に尋ねられ、安全対策に取り組まれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を全職員に配り、管理者が意見をまとめ、自己評価を作成された。自己評価を一人ひとり取り組む事で、全職員の意識向上に繋がられている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1度、定期的に運営推進会議を開かれ、当ホームの取り組みや協力体制をお願いされている。会議の参加者も、毎回楽しみに参加されているようである。また会議録がよくまとめられており、どのような話し合いをされたか、すぐに読みとれるように作成されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>入居者の日々の暮らしぶり等を3ヶ月に1度、入居者一人ひとりのご家族へ定期的便りを送られている。また健康状態など、逐一電話連絡を入れ、必ずご家族に報告されている。相談苦情の窓口を掲載され、入り口に意見箱を設置するなど、ご家族からの意見を伺う姿勢を示されており、ご家族が訪問時に意見を尋ねられている。しかし、ご家族から意見を引き出し切れていないのが現状である。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>当ホームの行事で近隣の方々に来て頂いたり、中学生の体験学習で交流されているだけでなく、入居者と一緒につったお饅頭などを近所の方にお裾分けするなど、地元の方との交流に努められている。また事務長は率先してホームの近くの草刈りをされている。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念である「陽気に 楽しく いきいきと！」を根底にされた五箇条の理念を用意され、入居者が地域の中で暮らし続けることを目指されている理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	当ホームの事務所だけでなく、リビングに大きく理念を掲げ、常に意識されている。朝礼時やケア会議の中でも、その都度声に出して確認されるなどの取り組みがされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	当ホームの行事で近隣の方々に来て頂いたり、中学生の体験学習で交流されているだけでなく、入居者と一緒に作ったお饅頭などを近所の方にお裾分けするなど、地元の方との交流に努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価を受けられて改善計画シートを作成され、よりよいグループホームになるべく取り組まれている。また自己評価を全職員に配り、職員の意識向上につなげられている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、定期的に運営推進会議を開かれ、当ホームの取り組みや協力体制をお願いされている。会議の参加者も、毎回楽しみに参加されているようである。また会議録が、よくまとめられており、どのような話し合いをされたかが、すぐに読みとれるように作成されている。		

グループホーム うららの里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者等とコミュニケーションを取るべく、時間があれば管理者が足を運ばれている。情報があればすぐに当ホームの職員へ伝え、サービスの質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の日々の暮らしぶり等を3ヶ月に1度、入居者一人ひとりのご家族へ定期的に便りを送られている。また健康状態など、逐一電話連絡を入れ、必ずご家族に報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談苦情の窓口を掲載され、入り口に意見箱を設置するなど、ご家族からの意見を伺う姿勢を示されている。またご家族が訪問時に意見を尋ねられている。しかし、ご家族から意見を引き出し切れていないのが現状である。		今後は更にご家族の意見を引き出すために無記名アンケートなどの工夫を考えられ、今以上によりよい信頼関係を結ばれるグループホームを目指されることが期待される。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設当初から職員の異動は入居者のダメージを考慮され、行われていない。また離職はほとんどないが、離職される場合は入居者が混乱されないように工夫されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人の職員が入った場合、介護の経験豊富な管理者が主体となって育成されている。また外部研修に参加した際には、内部研修にて伝達講習が行われている。研修の資料や報告書もあり、何時でも確認出来るようにされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者を中心に地域の同業者と友人関係を築かれ、互いに相談されながら質の向上に取り組まれている。またケア研究会議などにも参加されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者のご自宅へ会いに行き、馴染みの関係を築く工夫をされている。また当ホームへ見学に来て頂き、全職員が笑顔で対応するなど、入居者が安心して入居できるように工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>下膳や洗濯物等、入居者から手伝って頂いた際は、必ず感謝の言葉を笑顔で伝えながら、共に生活されている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居される際にアセスメントをとられている。また生活の中から入居者一人ひとりの希望などを把握するよう努められている。しかし記録の取り方について、もう少し整理されると更に良いのではないかと。</p>		<p>今後は要点を押さえる記録の残し方や書類の書式を検討され、更に入居者の暮らしの希望を全職員が把握できるよう、努められることに期待する。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人、家族の意向を取り入れ、それをもとに職員の気づき等も話し合い作成されている。また家族に報告、同意を得られている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度、あるいは状態変化に伴う見直しを全職員で実施している。また毎月モニタリングされており、介護計画の進行具合を確認されながら行われている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の自宅への送迎や通院介助等、要望に応じて支援されている。また入居者が入院された場合、ご家族が諸事情で来られない時は、管理者が泊まり込み等の支援をされることもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1週間に1度の往診があり、医師から伝えられた事を記録し、医師に確認のサインをいただくなどの対応をされている。受診支援として入居者のかかりつけ医へ通院介助されている。受診結果については報告書に記録し必ず家族へ報告している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者やご家族の意向を確認し、医師にも相談しながらこれまでターミナルケアを行われ、記録もされている。またターミナルケアの研修も経験されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	普段から入居者への言葉遣いに注意し、失禁などの場合も慌てることなく、入居者の気持ちを考慮して誘導されている。重要書類等は事務室に管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や朝食の時間などは入居者一人ひとりのリズムを大切にされている。また紙細工が得意な方には色紙を用意し、楽しんで頂いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	品数の多さや料理の味付けなど、食事には特に自信をもっておられ、入居者やそのご家族にもたいへん喜ばれている。入居者と共に食事を摂られることで会話が弾み、穏やかに食事を楽しまれている。また下膳や皮むきなども共にされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は基本的に昼間で、2日に1度のペースで入浴されている。入居者の要望があれば毎日入浴されることも出来る。また脱衣所には冷暖房機が用意されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	敷地内に畑があり、季節の野菜を入居者と共に収穫するなど楽しまれている。また綺麗な芝生のある中庭でレクリエーションをされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1週間に1度はドライブに出かけたり、中庭で体操や散歩をされるなど、入居者一人ひとりの希望に添うよう努められている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵を掛けておらず、見守りと声かけ等の目配りと気配りで入居者は自由に出入りできる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間9回もの消防訓練を実施されており、様々な状況での訓練を重ねることで、緊急時の対策に備えられている。またスプリンクラーも完備されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	運営者の身内の方に栄養士がおられ、食事のメニューを確認されている。また食事の摂取量や水分量なども記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは程良い明るさを保っている。また季節の花を食卓に飾られ、季節感を考慮されている。中庭は広く、美しい芝生が広がっており、そこにはベンチなども用意されている。脱衣所には冷暖房が完備されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居者の状態によって整理され、安全に生活できるように配慮されている。またテレビやご家族の写真が飾ってあるなど、居心地良く過ごされていた。		